

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ごみ減量作戦！ 子どもといっしょに“お手軽”“ついで”の生ごみ減量モニタ事業
事業主体 (連絡先)	宮田村 みらい創造課 協働係 0265-85-3181 (代)
事業区分	⑤ 環境保全、景観形成に関する事業 ① 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,840,800 円 (うち支援金：874,000 円)

事業内容

村内の保育園に大型の生ごみ処理機を設置し、自園で発生する厨芥ごみ(給食残さ)を処理するとともに、モデル機として処理の状況を保護者にも見てもらい関心を持ってもらう。

さらに、通園する子どもたちの保護者に、家庭で出た生ごみを送り迎えの“ついで”に持ってきてもらい“モニタ”として処理機を利用してもらう。

こうした取り組みで、若い世代や子どもたちにごみ減量に対する意識を持ってもらうとともに、今後の地域への取り組みのモデルとする。



【処理機を見学する保護者】

【目標・ねらい】

- ① 生ごみの減量
- ② モデル事業として地域にPR
- ③ ごみ減量化機運の醸成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 回収実績 (2015.1.8~2.27 実績)

回収回数 15回 合計 237.77キロ
 (1回1世帯あたり平均：1.47キロ)
 → 年間の生ごみ減少予想量
 約1.5トン (ひと月平均120キロ×12月分)

②③ モニタ登録数は40世帯。処理方法は好評で、ごみの減量効果も実感してもらっている。また園児たちも当番で運搬をお手伝いし、ごみの減量、分別に関わっている。

※自己評価【B】

【理由】

モニタ利用の保護者からも好評で、十分な減量効果があると判断ができたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

このモニタ事業の成果やデータをもとに、取り組みを全村に向けて広げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある